

洋書輸入協会会報

VOL. 9
NO. 3

(通巻95号) 昭和50年3月

理事会報告

2月10日(月)

- (一) I. R. M. 株式会社 (IRM, Inc. 港区東麻布1-4 朗生ビル) の入会(賛助会員)を承認。
 (二) 12月・1月収支計算・予算対比表の検討、承認。
 (三) 諸情勢につき討論。
 (四) その他。

2月26日(水)

- (一) 大蔵省関税局発表の商品別輸入統計について紀伊国屋書店相良廣明氏から報告があった。
 (二) 諸情勢について検討、討論。
 (三) その他。

昭和49年1—12月洋書輸入通関統計とその分析

相 良 廣 明

大蔵省関税局から、昭和49年の日本貿易統計が発表されたので、洋書関係の数字をピックアップして検討してみた。

1. 昭和49年1—12月、書籍・雑誌の輸入
通関統計表及び3年間の推移一覧表

単位: 百万円

商品名	昭和47年	昭和48年	前年比	昭和49年	前年比	前々年比
書籍	12,839	11,767	92%	16,843	143%	131%
雑誌	5,534	5,809	105%	6,818	117%	123%
小計	18,373	17,576	96%	23,661	135%	129%

〔註〕1. 書籍は仮とじのもの、パンフレット及びリーフレットを含むが、マイクロフィルム類は含まない。
 雑誌は、その他の定期刊行物を含む。

〔註〕2. 価格はCIF又はC&Fである。(以下同じ)

〔註〕3. 昭和47年までは、小額貨物は7万2千円以下が含まれずとなっていたが、昭和48年から10万円以下含まれずに変更されている。(以下同じ)

2. 昭和48、49年上・下期毎書籍・雑誌輸入
通関統計比較表

単位: 百万円

期 別	書 籍	雑 誌	計
S 48. 1—6 月	5,616	2,732	8,348
S 48. 7—12 月	6,151	3,077	9,228
計	11,767	5,809	17,576
S 49. 1—6 月	7,234	3,155	10,389
前 年 比	129%	115%	124%
S 49. 7—12 月	9,609	3,663	13,272
前 年 比	156%	119%	144%
計	16,843	6,818	23,661
前 年 比	143%	117%	135%

理事会報告…………… 1
 49年洋書輸入通関統計と分析………… 1
 ヨーロッパを旅行して 武田五郎 3
 Book Review No. 23…………… 5
 外国出版社の紹介 No. 36 …… 5
 (C.H. Beck'sche Verlagsbuchhandlung)

海外ニュース…………… 6
 ニュース…………… 6
 通関統計…………… 6
 広告 (OECD出版物センター) 6

新入会員のお知らせ…………… 7
 総代理店ご案内…………… 7
 会員の横顔…ナウカ・久保裏…… 7
 広告 (中央洋書株式会社) …… 8

3. 昭和49年1—12月主要国別書籍・雑誌輸入通関統計表

単位：百万円

国名	書籍			雑誌			合計		
	額	前年比	構成比	額	前年比	構成比	額	前年比	構成比
米	9,555	156%	57%	3,049	115%	45%	12,604	144%	53%
英	2,466	134%	15%	921	113%	14%	3,387	128%	14%
西独	1,866	119%	11%	979	124%	14%	2,845	121%	12%
仏	529	119%	3%	502	126%	7%	1,031	122%	5%
スイス	513	142%	3%	294	124%	4%	807	135%	3%
蘭	464	78%	3%	540	147%	8%	1,004	105%	4%
伊	401	212%	2%	350	108%	5%	751	146%	3%
ソ連	59	120%	0%	12	43%	0%	71	92%	1%
その他	990	162%	6%	171	86%	3%	1,161	143%	5%
計	16,843	143%	100%	6,818	117%	100%	23,661	135%	100%

〔註〕 S48と構成比を比較してみると、書籍は米、約5%増、西独と蘭が夫々2%減であり、雑誌は蘭2%増、米1%減、合計で米3%増、英1%減、西独1.4%減、蘭1.5%減といった推移になっている。

4. 分析

S49が前年比35%も増加した原因には、次のようなことが考えられる。

4・1 通関手続きの変更

S49、4月から郵便物による輸入の通関手続きに変更があった。従って正確には、S50の統計数字を見た上でS49を判断した方が妥当であろうが、大きな影響はあるまい。

4・2 為替相場の変動

S48は、2月のドル10%切り下げ、及びその後の円変動相場移行後の円高の関係があり、英ポンドも下落しているため、S47比、加重平均で約5%前後の輸入価格ダウンがあった。

S49は、1月より米ドルが300円台に急騰し、英ポンドも5月からあがり始め、7月以来700円台を主調としたまま年末に至っており、ドイツ・スイス・オランダその他の北欧通貨も年半ば頃から年末にかけて、じりじりとあがっていった等、為替相場の変動による要因も大きい。

〔註〕 主要国のS47、12月平均の為替相場とS48、12月平均の比較と加重平均

通貨	上昇率	洋書構成比	加重平均
U.S. \$	7.26%	53%	3.85%
S.T.G. £	7.73	14	1.08
D.M.	6.05	12	1.93
F.F.R.S	8.62	5	0.43
S.F.R.S	31.13	3	0.93
F.L.S	18.10	4	0.72
計		91%	8.94%

すなわち、書籍・雑誌の91%を占める上記6カ国で加重平均8.94%の為替相場の上昇を示している。勿論これは、年間平均値ではないが、参考数字とはなろう。

4・3 原定値の値上り

S49の米国ハード・カバーものは、新刊・再版で15.5%、英国は約13%の値上りを示しており、雑誌は正確にはつかめないが、学術雑誌に限ると25~30%値上りしていると思われる。

4・4 S48統計値に関する推測

S48の通関統計が、前年比4%ダウンになっていることを念頭においてS49の数字を見なければならぬ。それにしても2項に示されているようにS48、7—12月と、S49、7—12月が書籍において56%も増大していることは、一寸考えられない程の増大である。これは、恐らく石油ショック等による物価高騰のために、S48の後半の洋書の団体需要が一時停滞しその分が繰り延べられた関係の影響もあるう。

4・5 貨物による輸入部分の増大

S49は専門洋書の大部分を占める郵便物による輸入の増大よりも、貨物による輸入増大の方が遙に大きいと聞いているが、未だ実態を解明するに至っていない。

以上、推測を交えて分析してみたが、結論的には、——あくまでも私見であるが——、上記のような諸原因を総合するとS49の実態は次のようになろう。

すなわちS48は、為替相場の下落や、需要の一時的停滞

があったためにこれを除外して、S49をS47と比較し、2年間で29%増大、前年比13%～14%増大という判断が妥当であろう。なお、外価の値上りや為替相場の上下差、貨物部分の増大等を考慮に入れると専門分野の書籍雑誌の実質成長は横這い程度（雑誌のみについては5～10%の実質ダウン）と推定される。

5. 参考数字

昭和49年1—12月、洋書関連商品の商品別輸入
通関統計表と3年間の推移一覧表

5. 1. 書籍・雑誌に準ずるもの

単位：百万円

商 品 名	昭和47年	昭和48年	前年比	昭和49年	前年比
絵 本	32	4	12%	166	4,150%
新 聞	75	82	109	114	139
楽 譜	246	326	132	345	106
地図・海図	183	258	141	287	111
印刷書画	198	293	148	596	203
その他の印刷物	1,460	1,748	120	3,050	174
計	2,194	2,711	124%	4,558	168%

5. 2. その他の関連商品

単位：百万円

商 品 名	昭和47年	昭和48年	前年比	昭和49年	前年比
地 球 儀	159	139	88%	443	319%
絵 葉 書 等	45	20	44	41	205
カレンダー	144	166	115	285	172
写 真	22	22	100	43	195
写真用フィルム等	253	326	129	445	137
計	623	673	108%	1,257	187%

〔註〕1. 絵本は、幼児用の絵本及び習画本。

・楽譜は、手書きのもの、絵入りのもの及び製本したものを含む。

・地図・海図は、その他これらに類する地理学用・気象学用又は天文学用の図を含み、印刷したものである。

・その他の印刷物には、広告用印刷物（ポスターを含む）、広告・宣伝を目的とする物、各種の貿易用カタログ（書籍楽譜の出版者のリスト、芸術作品のカタログを含む）、観光案内、印刷されたカレンダーバック、紙又は板紙以外の材料に印刷されたカレンダー等々が含まれている。

〔註〕2. 地球儀は、天球儀を含み印刷したものである。

・絵葉書は、クリスマスカードその他の絵入カードを含み、印刷したものである。

・カレンダーは、紙製又は板紙製のもの。

・写真用フィルム（Code No. 862—480）は、写真用のプレート及びフィルム（現像したもの）であり、マイクロフィルム・マイクロフィッシュ・スライド等は、これに含まれる。

6. 参考数字

昭和49年1—12月商品別輸出通関統計表
及び3年間の推移一覧表

単位：百万円

商 品 名	昭和47年	昭和48年	前年比	昭和49年	前年比
書 籍	5,599	4,887	87%	5,875	120%
雑 誌	1,778	1,556	88	1,772	114
計	7,377	6,444	87	7,647	119

以上

はじめてヨーロッパを旅行して

東 光 堂 書 店 武 田 五 郎

「武田さん今度はヨーロッパへ行くそうですね。いいですね」といわれると私は何か重さを感じた。それは会社の費用で行くことやフランクフルトの国際書籍展での仕事のことを考えて重さを感じるのではなかった。私の考えていたのは言葉の通じない国で見聞きし、物を食べることが何か大変な苦勞に思われたからであった。

実際に行ってみると団体旅行というものがこんな気の楽なものであるとは今度の経験をするまで予想もしていなか

った。それ位現代では海外旅行は平易なものとなっているのである。最近ではこれに加えて、イタリアでもイギリスでも、商店ではしだいに日本語を話せる店員さんも増えて来ているので猶更苦勞はなくなっている。

何んといっても団体旅行であるという気強さは何にも増して大きな力であったというのは、どの国へ行っても、この20数名はいつでもいっしょであるし、日本人であるからである。

さて最初についたのはロンドンであった。ちょうど近衛兵の交替時間で見物人がワンサと来ているのであるが、騒がしい感じがしないのである。イギリス人というのは、この様に物見高い時でもいつも静かなる賑さの程度を保っている民族なのであろうか。この様な所が英国は紳士の国と云われるゆえんであろうか。又英国ばかりでなくヨーロッパ各国が日本とちがっている所は巡査がとてもやさしい親切な事である。

12月5日のテレビ放送のニュースで道交法違反で（信号無視）パトカーにつかまった男が一万円を出してこれで勘弁してくれといったため贈賄罪現行犯として逮捕されたと報じている。日本の巡査はかくの如しであるが、ヨーロッパの巡査は、若しこの様な場合であったら一万円を受取って「OK・GO・ON」というにちがいないと思う。市民を尊重し丁寧であること特に婦人に対してはそうである。

イギリスではウインザー公城に行った。ここは静かな田舎の町であるが、やはり貴族の町という感じが強く、品位と家柄を重んずる空気がすぐ感じられた。店の玄関に紋章を張り出してあるお店は老舗で由緒ある家柄だそうである。この様な店で買物をすれば安心だということである。またこの様な老舗にはいったら必ず一人位は日本語がわかる店員がいるから更に便利である。この町の商品は品格と質が良い様に思われた。翌日マドリッドに向かって飛び立ったが、この時は自由席であったので窓ぎわに席を取った。飛行機の下は雲がもくもくと視界一面を覆っていたがそこで非常にめずらしい現象を見た。朝日が雲に反映して円い虹を作っていた。よく見るとその円い虹の中に灰色に飛行機の影が落ちているのである。これはみごとな美しさである。自然の造形美のあまりに美しいのにしばし見とれてしまったものであった。さっそくパチリ・パチリとカメラに納めた。日本に帰って来てこのフィルムを現像に出したが、飛行機の翼も雲も出ているのに虹も飛行機の影も全然出ていなかった。写真店の主人の話では、飛行機の窓ガラスは特殊ガラスであり、三重の厚いガラスであるため大抵の人は機内からの写真は失敗するそうである。まことに残念でならない。

スペインで一番印象的であったのはトレドの町と城であった。世界的な画家エル・グレコがこの町を非常に愛し、生涯をそこで終ったというトレドはアラブ系民族が築いた文化遺産である。ここの寺院にはエル・グレコの名画が数多くのこされている。その昔スペイン人に征服されたこの民族も、その文化の一部は受継がれて今もこの地方に残され、美しい装飾品として美しいパターンと彫金術と共に民

芸品として海外のお客を喜ばせている。スペインのマドリッドは1932年ここに人民戦線政府が作られたが、これを暴力的に破壊しようとして、ファシスト・フランコ將軍は周囲の国々の資本家に支援されて攻撃を開始した。長い激しい抵抗のすえついに人民戦線の人民軍は打破られ多くの労働者や進歩的な知識人が殺された。この戦争にはフランス等からも人民戦線政府を支援するため自発的な義勇軍が多く参加した。日本からもこの人民戦線軍に参加し戦死した人がいるということである。日本人がこの地でこの様な英雄的戦斗をやったということがガイドさんの説明でわかった時、急にスペインが日本に近しくなった様に感じた。

さて私の旅はローマ・ミラノ・フランクフルト・ジュネーブ・パリ、と続くのであるが、ローマもミラノもあまり私の好む雰囲気ではなかった。

それはイタリーがヨーロッパでは比較的に貧しい国であるせい、また日本に似てセカセカした国民のせい、まだ私にはわからない。然し何か生活に追われているゆとりがない国民の様に感じられてならなかった。

私が一番親しみと愛着を感じたのはやはりフランスである。この国にはいると直感的に感ずることは文化的な高さであらう。きっと教育もゆきとどいているのであらう。又一人一人が国の政治を動かしているという自覚と自負が会う人毎に、公園でベンチに休んでいる人にも感じられる。街は清潔でチリ紙一つ落ちていない。エッフェル塔の下で公園でゆっくりと一服をし、またシャンゼリゼー通りをブラついた楽しい思い出は忘れられない。

さて最後にここではあまりにも強い印象をうけたヴェルサイユ宮殿とルイ王家の歴史について一筆記しておかなければならない。案内嬢がルイ十四世から十六世までの歴史を、その居室に行く毎にその時代の特徴を説明してくれたが、特に最後のルイ十六世の話、マリー・アントアネットの生涯、この物語りは私の胸をしめつける様であった。特にマリー・アントアネットは二児の母であり、この子たちを非常に愛していたそうである。死刑台にのる時も最後に首を落される時も泣き叫んでいやがったそうである。この様な悲劇は何百万という民衆がそれ以上の苦しみが続けた結果として許されるのであろうが、革命の厳しさと非情さをひしひしと感じさせられた。然し考え転じて見れば、この様な革命があったからこそ現代フランスの民主主義の新しい発展が生れたのであろうと思うと、われわれ生きとし生ける者の厳しさを改めて強くかみしめざるを得ない。

（昭和49年12月10日）

「出版を学ぶ人のために—出版ジャーナリズム文献総覧—」

出口一雄著
第一書店出版部刊
昭和50年1月20日初版
B 6版 213ページ 円1,600

本には普通に読む本と、身近に置いて事典の様に参考にする本とある。この「出版を学ぶ人のために」は、もちろん後者であるが、我々出版産業の中の人間には、必備の本と言えるかも知れない。

我々の関係する出版産業についての本は、日頃から、そんなに多く出ていないし、講座の様な形での本格的、総合的研究もなされていないだろう、というのがこれまでの正直な実感であったわけだが、はたしてこの本の著者も冒頭で「……出版に関する総合的・歴史的・科学的な分析・研究が、わが国においては未だほとんどなされていない。出版に関する総合的な・本格的な調査研究所さえない現状である。したがって出版に関する資料・文献の総合的なセンター一つさえない。大学においても、出版の専門的講座を常設しているのは、東海大学ほか一、二にすぎない」とのべている。たしかに同じマスコミ分野である新聞・放送について言えば、その研究文献・関連出版物だけとってみても、出版ジャーナリズムの比ではない事は明らかである。

本書は著者が日本エディタースクールの講義のために編集した文献総覧であるが、当然、一般の出版産業関係者・出版研究者に資する所ありとして公刊されたもので

ある。著者の冒頭の言葉通り、本格的研究のおくれた産業ではあるが、それでも明治初年から、昭和49年10月までの間に、この産業に関する単行本（二文獻目録は非売品を含む単行本のみを収録）が一冊の本になるだけ出版されている事は、まぎれもない事実である。各項目毎に収録されている文献をひろってみると、求めて参考としなければならない本が随所に見られる。

この本の構成を書く。

(I) 出版を学ぶ人のために（著者による出版産業に関する文献の概説）

(II) 出版に関する書誌の部

(一) 講座

(二) 概論

(三) 本づくり（製作）

(1) 編集 (2) 校正 (3) 装幀 (4) 印刷 (5) 紙 (6) 製本

(四) 流通と販売

(1) 流通 (2) 書店 (3) 読者 (4) 広告

(五) 歴史

(1) 出版文化史・業界史 (2) 社史・伝記・回顧録

(3) 関連団体史 (4) 関連業界史

(六) 出版の自由と弾圧

(1) 出版の自由と弾圧史 (2) 筆禍史

(七) 著作権

(八) 書誌学関係

(1) 書誌学（書物の研究） (2) 書誌 (3) 目録類 (4) 年鑑 (5) 名著解題 (6) 児童書の研究 (7) 定期刊行物

(九) 出版人の著書

(十) その他

(III) 戦前のベストセラー史

(IV) 戦後のベストセラー史

(SSD 野村)

外国出版社の紹介 No. 36

C. H. Beck'sche Verlagsbuchhandlung
8000 München 40, Wilhelmstrasse 9

創立者 Carl Cottlob Beck がネルトリンゲンで同社を設立、出版事業をはじめたのが1763年であるから、ドイツでも屈指の古い伝統を有する出版社と云ってもよからう。しかも、同社は、ベック家代々に連綿と受け継がれ、現在も同家の所有である。他の有名な古い出版社が、名前だけは残っていても、経営者、所有社はすでに何度も変っている例が多いのに較べればきわめてめずらしい。

1889年に印刷部門のみをネルトリンゲンに残し、ミュンヘンに移ったが、現在でもミュンヘンに本拠を置いている。

200年をはるかに越える長い歴史の中で、着々と学術出版社としての地歩を固め、ドイツでも有数の大出版社

にのしめがってきたが、現在でも同社の主力をなしているのは法律書の部門である。西ドイツの法律出版社と云えば、誰しもこのベック社を一、二に挙げるであろう。廉価な法令のテキストから、大小のコメンタール、教科書、ぼう大な判例集にいたるまで、法律のあらゆる分野のあらゆる種類の出版物をカバーしている。法律専門誌も20点を越す。

他の分野でも、例えば、ギリシャ、ローマを中心とする現在すでに40巻を越すぼう大な古代学ハンドブック・シリーズ、独文学史、文化史、哲学、社会学など幅広い出版活動をおこなっている。文学や小説は傘下の Biederstein Verlag が出版している。なお、名の知られた法律出版社 Franz Vahlen も、1970年からベック社の系列下に入っている。

(紀伊國屋書店 N.I.)

海外ニュース

「米国の出版統計」

パブリッシャーズ・ウィークリー誌 2月3日号に、1974年のアメリカの出版統計が発表されている。

これによれば、総出版点数は1973年より約2.2%増の40,846点であった。これはこれまでの最高記録である。

このうち新刊は30,575点で前年より約9%の増加、重版は10,271点で前年より約13%の減少である。

分野別に見ると、医学書や理工学書の著増に対し、小説や文学、哲学、心理学などの減少が目立つ。ペーパーバックの伸び、料理書の増加ぶりも著しい。

平均単価は、ハードカバーは、前年の\$12.20から\$14.09へと15.5%の値上りを示している。特に、法律、医学、科学、工学などの専門書や総記の値上りが著しい。ペーパーバックも、マス・マーケット向が\$1.17から\$1.28へ、トレードものが\$3.73から\$4.38へといずれもかなりの値上りである。

(Publishers Weekly 2月3日号より)

「英国書籍の平均単価」

1974年7月～12月の期間に、英国書籍は、政府出版物を除き、1,686の出版社から16,171点出版されたが、その定価合計は\$59,221,651であった。従って平均単価は\$3.66であった。(1974年1月～6月では、1,736社、15,245点で、平均単価\$3.65)

7月～12月の統計のうち、新刊は12,458点で、定価合計£48,563,451、平均単価£3.90であった。重版は3,713点、総額£10,658,20で平均単価£2.87である。

前年同期(1973年7月～12月)の数字は1,766社、18,098点、平均単価£3.37であった。このうち新刊は13,093点で平均単価£3.46、重版は5,005点、平均単価£3.14である。

(The Bookseller 1月25日号より)

——紀伊國屋書店提供——

ニュース

☆CBS Publishers' Distributors Pvt. Ltd.

(Delhi) のExpot Manager Mr. B. R. Sethi 3月上旬来日。

☆Collier-MacMillan 社の Mr. E. Claudio, Area Sales Manager 2月下旬来日。

☆The Almqvist & Wiksell Bokhandel 社の Mr. Hans Molander, Managing Director および Mr. F. Davids Thomsen, Director 2月下旬来日。

通関統計

外国貿易概況(大蔵省関税局編、日本関税協会発行) 1974年11月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和49年11月	\$5,656,000	1月以降累計	\$76,018,000
昭和48年11月	\$5,815,000	"	\$60,739,000

(註) この統計は、CIF価格で10万円以下の少額貨物は含まれない。

ORGANIZATION FOR ECONOMIC



COOPERATION & DEVELOPMENT

OECDが発表する1985年までの

長期世界エネルギー展望報告

ENERGY PROSPECTS TO 1085: AN ASSESSMENT OF LONG TERM ENERGY DEVELOPMENTS AND RELATED POLICIES.

Analyses the effects of oil price increases on energy supply and demand in the OECD area using alternative projections. Evaluates the possibilities for saving energy and for increasing production of different forms of energy in OECD countries. Indicates the range of policy options in the energy field and possibilities for cooperation among OECD countries, with oil exporting countries, and with non-oil producing developing countries. 第1巻 224頁、第2巻 212頁 セット価格 ¥4,160

OECD加盟国エネルギー需給統計年報 1959年～1973年

STATISTICS OF ENERGY, 1956-1973

Presents for each OECD member country annual data for a detailed breakdown of production and consumption for more than 20 primary and secondary sources of energy. 566頁 ¥6,840

OECD経済展望6ヵ月単位の現状分析と短期予測 1974年12月号

OECD ECONOMIC OUTLOOK No. 16

Analyses the current economic situation of OECD countries and the prospects for 1975 regarding demand, output, employment, prices and the balance of payments.

毎年7月、12月刊行、年間購読料 ¥3,570

単価 ¥2,100

(その他カタログ資料等)
ご請求下さい。

OECD東京出版物センター

〒107 東京都港区赤坂2-3-4 赤坂パークビル

☎ 03-586-2016～8

新入会員のお知らせ

今回下記のかたが会員として入会されましたので、お手許の会員名簿にご記入願います。

賛助会員

A.S.P. 東京連絡事務所
(エルゼビヤ・エクセプタメディカ・ノースホルランド)
〒113 東京都文京区湯島 3-28-1
エリート・イン湯島一階 ☎ 836-0810
代表者 加藤 勉 氏

I.R.M. アイ・アール・エム株式会社
〒106 東京都港区東麻布 1-4 朗生ビル
☎ 583-1161 (代)
代表者 河本 英三氏 (連絡者 志賀 昇氏)

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います。

丸 善 (株) ☎ 272-7211

Myers, R. D.—Handbook of Drug and Chemical
Stimulation of the Brain Behavior, Pharmacological and Physiological Aspects. '74. xvi, 759 p.
(Van Nostrand Reinhold) ¥15,720

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社
☎ 262-5278

William Heinemann Ltd.

Harvard Business Review Library 70 titles
The M. I. T. Press

Nobert Wiener: Collected Works, Vol. 1. ¥9,900
Collected Papers of Hans Rademacker 2 vols.
¥27,750

Kraus Reprint Co.

Acta Orientalia.
Vols 1-10. Lund, 1922-1931/32 Cloth ¥79,800
Urban Studies.
Vols 1-9. Edinburgh, London, 1964-1972
Cloth ¥80,220
Spring-Contributions to Jungian Thought.
Years 1941-1969. New York, 1941-1969
Cloth ¥88,200
Institut International de Philosophie.
Philosophy in the Mid-Century. A Survey.
4 Vols. Florence, 1958-1959. Cloth ¥30,240

洋 販 ☎ 208-0181

British Museum Publications Ltd. All Books.

会員の横顔

ナウカ株式会社

久保 襄

南池袋のナウカ本社は、雑司ヶ谷の墓地や芒細工の「みみずく」でも有名な鬼子母神の近くにある。といっても、今は周囲にビルディングが林立し、高速道路が架けられ、そして最近開通した地下鉄—



有楽町線の「東池袋駅」は雨の日でも傘なしで一走りという距離にある。

風邪をこじらせて、一月には一ヶ月程入院されていた久保さんに、初めは遠慮勝ちに、しかし少し馴れてくると段々と図々しく、いろいろ伺うことにする。

大正5年、長野の更科の生れ。「そば」や田毎の月で有名なところだが、そこで過したのは小学校を出るまでで、七里離れた長野市の中学に入学以来、静高、東大、と、ずっと下宿生活の連続だったという。教育熱心な信州の土地柄か、それとも久保さん御自身が特に向学心に燃えていたのか、或はその両方だったのかも知れない。昭16、東大の経済学部を了えて東亜研究所に入り、終戦までをそこに過す。ふとしたことからナウカ社の先代社長大竹氏と知り合い、一緒に仕事をするようになり、昭27年現在のナウカ社を設立。(因みに、ナウカとはロシア語で「科学」を意味する由。ソ聯にナウカ出版所というがあるので、その真似と思う人もいるらしいが、戦前大竹氏が出版業を始めてナウカと名のつた頃は、まだその出版所は設立されていなかったから、現社名は大竹氏の考えたものであらう、と久保さんは語られる。) 当時はパーター貿易であったから、輸入図書のすべてをリストアップし、その見返りとなる輸出用の日本の新聞、図書の合計金額をピッタリと合はせるという「神技」を必要とした、などという話は、今の若い方達には通じないかもしれない。

碁や将棋も一通りたしなむし、レコードはクラシックものが好きだが、しかし特に趣味としてとりあげるほどのものはありません、と云う久保さんに、信州人の生マジメな性格のあらわれを見るのは、筆者の偏見であらうか。(自宅中野区東中野 1-28-3)

K.S. 記

Instructional Course Lectures Volume XXIII



THE AMERICAN ACADEMY OF ORTHOPAEDIC SURGEONS

(アメリカ整形外科学会編)

The C. V. Mosby Company 刊
定価 9,060 円

320頁：サイズ 8½×11インチ：図版 359：1974年12月発行

1. Total replacement of the knee
2. The role of the orthopaedist in the management of juvenile rheumatoid arthritis
3. The timed appearance of some congenital malformations and orthopaedic abnormalities
4. Practical biomechanics of the spine for the orthopaedic surgeon
5. Management of arthrogryposis multiplex congenita
6. Cosraetic incisions, skin, bone, and composite grafts to restore function of the hand
7. Clinical problems in epiphyseal plate growth and development
8. Subtrochanteric fractures
9. Indications and selection of patients for total hip replacement
10. Materials for total hip replaement
11. Total hip replacement in young patients
12. Complications of total hip replacement

極めて高い権威を持つ Instructional Course Lecturesのシリーズは整形外科医学の多くの重要な諸問題につき常に明解且つ実際の論議をとり上げておりますが、これはアメリカ整形外科学会の年次総会での議題のハイライトをまとめたものであり、多くの医学関係者に多大の貢献をもたらすものとして迎えられております。今回発行される第23巻は38名の著名な寄稿者により今日の整形外科手術の実際上不可欠な問題である1969年に導入された Polycentric Knee Arthroplasty 又 Total Hip Replacement及びその合併症。Total Replacement of the Knee等をとり上げております。

整形並びに形成外科の研究家及一般外科、並びに総合図書館の必携の書としておすすめします。

次の Back Numbers も御利用下さい。

Instructional Course Lectures	Vol. XXII 1973	¥9,060
Instructional Course Lectures	Vol. XXI 1972	¥9,060
Instructional Course Lectures	Vol. XX 1971	¥9,060
Instructional Course Lectures	Vol. XIX 1970	¥9,060
Instructional Course Lectures	Vol. XVIII (2 Vols. J1 & J2 1962-1969)	
	1973	各¥14,610

下記に御一報下されば詳細御連絡致します。

日本総代理店

中央洋書株式会社

東京都千代田区神田神保町1-13
TEL 294 - 5151 〒101

昭和50年3月 通巻第95号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901
☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329